

企画提案書記載項目

企画提案書の作成にあたって、以下に示す各章・項の構成に則って作成すること

【注意事項】

- ・提案項目における全ての項目は必須として記入すべきものであり、これらの項目において記入がないなどの場合は、その項目は0点になるため記入には十分留意すること。
- ・説明は文章をもって行い、図等はその補助として用いること。図のみの説明は認めない。
- ・記載された内容は、評価基準に基づき評価を行うこととする。

章	項	提案項目	提案内容
1章	全体像		提案するシステムの全体像について、イメージ図等を用い具体的かつ明瞭に記述すること
	1.1	本業務の目的と成功のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的を明確に把握し、その目的の実現に向けた提案を行うこと ・本業務の成功におけるポイントを把握し、適切な対応策を提案すること
	1.2	提案者企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間における自治体受託実績等を明確に示すこと（令和8年度以降に稼働予定のものを含む） ・再委託等複数企業体での提案の場合、企業構成・役割分担等を明確に示すこと
2章	プロジェクト管理		プロジェクト管理の考え方、具体的な手法を示し、長期に亘るプロジェクト運営に耐えられる提案を行うこと
	2.1	プロジェクト管理基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点から、本業務のプロジェクト管理全体の基本方針を示すこと
	2.2	プロジェクト管理手法	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務に対し、プロジェクト指標を定め、統一管理できる手法を示すこと ・本業務の工程の特徴を把握した具体的な手法を示すこと
	2.3	プロジェクト実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の実施体制を、実績（経歴）・資格・責任とともに示すこと（再委託事業者がある場合はそれぞれの企業に関するものと同様とする） ・本業務の実施体制を、構築工程・保守運用工程にそれぞれ分け、役割と実施場所を明確に示すこと（運用・保守工程の体制に関しては、運用・保守・監視・ヘルプデスクそれぞれの拠点・体制、及び業務内容が明確にされていること）
	2.4	プロジェクト実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の工程の特徴を踏まえたプロジェクトの実施作業を明確に示すこと ・本業務の契約から業務終了に亘る計画を示すこと ・本事業の全体スケジュールの詳細を具体的に示すこと ・繁忙期などを考慮したスケジュールとし、本市職員の負担軽減策を具体的に示すこと
3章	業務システム（クラウドシステム）		提案システム（クラウドシステム）に関する事業者としての方針、品質維持と向上に関する考え方を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと
	3.1	システムの価格体系	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス体系、価格体系を示すこと
	3.2	システムの適用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・提案するシステムの適用方針を具体的に示すこと ・提案システムを活用した全体最適化に向けた考え方を示すこと ・他自治体などの最新事例をもとに有益な提案を示すこと
	3.3	システムのバージョンアップ対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョンアップに関する基本方針を示すこと（バージョンアップ情報提供方法等）
	3.4	6年目以降の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・本提案システムを6年目以降も利用した場合の価格体系、運用・保守等について示すこと
4章	システム構築全般		システム構築全般に対する構築方針を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと
	4.1	コンサルテーション業務	<ul style="list-style-type: none"> ・新システム導入に係る庁内検討における提案、助言及び運用の見直しに係る具体的提案を示すこと
	4.2	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報資産の取り扱いについて、セキュリティインシデントが発生しない対策を示すこと ・継続的なセキュリティ向上に関する取り組みを示すこと
5章	構築工程		調達システム構築における基本方針やコンセプトを明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと
	5.1	構築工程全体の方針と体制	<ul style="list-style-type: none"> ・システム構築における全体の基本方針やコンセプトを示すこと ・特に重要視すべきポイント等に対する提案を行うこと
	5.2	要件定義の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・システム管理者、システム利用者、事業者の役割を具体的に示すこと ・本市の負担軽減に関する提案を示すこと ・要件定義に対する考え方や具体的な手法、進め方を示すこと ・要件定義の手法について実機を利用するなどの工夫を示すこと
	5.3	管理体制の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド型グループウェアを職員が主体的に管理するにあたって、運用管理が滞らないよう実態に合った管理方法を提案すること
	5.4	運用デザイン作成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド型グループウェアを活用するための最適な運用デザイン作成支援方針について提案すること ・新たなグループウェアを利用するにあたり、既存にとらわれない使い方を職員に伝える工夫を示すこと

章	項	提案項目	提案内容
	5.5	人事異動対応支援	・本番稼働後すぐに令和9年度の人事異動対応が発生するため、職員の負担を抑え、トラブルが発生しないようにする支援方法を提案すること
	5.6	データ移行支援	・仕様書に記載されているデータを移行するにあたり、具体的な支援方針を示すこと ・仕様書に記載されていないデータは職員にて手動で移行する方針であるが、効率的な移行ができるような工夫を他自治体の事例を参考に提案すること
	5.7	成果物	・構築工程における成果物を具体的に示すこと
6章	運用・保守工程		調達システム運用・保守における基本方針やコンセプト、また運用、保守、業務支援の範囲を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと
	6.1	運用・保守工程全体の方針	・システム初期稼働時のサポートについての詳細を具体的に示すこと ・システム運用、監視業務における全体の基本方針を示すこと
	6.2	障害対応の考え方	・障害対応の考え方を示し、職員への対応に関する有効な提案を行うこと ・障害対応体制と機能、役割、障害対応フローを具体的に示すこと
	6.3	問合せ対応	・クラウド型グループウェアにおいて、職員が主体となってシステムを管理することになる。適切なシステム運用のためのシステム管理者からの問合せについて対応方針を具体的に示すこと ・システム利用者からの問合せについて対応方針を具体的に示すこと
7章	研修工程		職員研修の内容と効果的な研修実現の具体的な手法を示し、本市にとって有効な提案を行うこと
	7.1	研修に対する考え方	・研修の対象、内容、実施時期を含め、研修に対する考え方を示すこと ・研修計画書、マニュアル等、必要なドキュメントの整備についての考え方を明確に示すこと ・既存のグループウェアとは利用方法が大きく変わるため、職員に対する研修の工夫を示すこと ・生成AIの活用がシステムの大きな特徴になるため、生成AI利活用に資する教育方針を示すこと
	7.2	初期研修の実施内容	・初期研修の対象者、内容、実施方法を明確に示すこと ・初期研修実施にあたってのシステム、研修環境、端末準備等の役割分担を明確に示すこと
	7.3	異動研修の実施内容	・職員異動に伴う研修について、内容、時期、実施方法を明確に示すこと ・研修実施にあたってのシステム、研修環境、端末準備等の役割分担を明確に示すこと
8章	オプション提案		仕様書記載事項以外において、実施内容、実現時期、及び価格が具体的であり、本市にとって有効な提案を行うこと
	8.1	オプション提案	・その他本調達や提案するシステム・サービスに関連し、本市にとって有意な提案や、事業者のサービスに関する特徴があれば、詳細な内容・効果を含め具体的に示すこと。